

3世代が繋ぐ、背広の浪漫 ツキムラ物語

PART 8

奈良の町で、親から子へと繋いでいった「洋服店」。そのタスキを受け取った現社長 岸伸彦氏の記憶と共にツキムラの軌跡、そしてこれからご紹介していくコーナーです。



岸社長

PRODUCED BY TUKIMURA

ツキムラの歩み

時代背景

2004年	奈良テレビの「気ままに駅サイト!」に出演 生駒市新生駒台に生駒店オープン	アテネオリンピック開幕 新潟県中越地震が発生
2005年	けいはんなプラザホテルにてけいはんな店オープン パターンオーダースーツの販売スタート 日本屈指の毛織メーカーと直接契約	JR福知山線脱線事故 宇宙飛行士の野口聡一が搭乗したスペースシャトル「ディスカバリー」の打ち上げに成功 香港ディズニーランドがオープン
2006年	奈良テレビにてTVCMオンエア	悠仁親王が誕生



上の写真は100人ほどを招待した、ホテルアジュール奈良でのワインパーティの様。下の写真は、ロンドンバスをモチーフにした学園前店。

新しい社員を迎えた岸氏は、彼らのために新しい土壌を用意しないといけないという気持ちに、展示会や新店舗出店へと遮二無二頑張り始めた。しかし、入社してから各店に配属となった社員との距離が、次第に離れてきているように感じた。「せっかく僕の夢に乗っかりとう入社してきたのに、このままだと彼らの気持ち解らなくなる」。そう思った岸氏は、縦の命令系統ではない、「コミュニケーションの場を考えた。思いついたのが、顧客を招いてのワインパーティ。いつもより背伸びした着こなしができる場を作ろうと度々催したが、それは、社員が立ち振る舞いを学べる場でもあつ

今後を担う人材の育成 「商売に大切なのは 人としてどう思うか」

前回までのあらすじ
大正14(1925)年、奈良町の一角で創業された「ツキムラ洋服店」。その3代目として生まれた岸氏。20代で店を担い、貿易や縫製を勉強しながら、株式会社ツキムラを設立。ラジオ番組に出演するなどのメディア広告や、大学講演などを精力的に取り組んでいた。

た。また、お客様を楽しませるため、社員出演で毎回趣向を凝らした映画を作り、岸氏自身も監督として采配。童心に返って若い社員と一緒に夢中になった。「見スーツとは関係ないようでも、オーダースーツに通ずる、カタチのないものを作っていくという、モノ作りの面白さや、目標に対して一生懸命全員で向かって行くということ。どこで仕事を終わらさずか、背広とは違う形で教えた。

そして、ストーリーを持たせる大切さも伝えたかった。ツキムラの各店舗にはそれぞれ「男が夢中になれる場所」というコンセプトがある。生駒店の店内にはイタリアのミラノに向けて置かれている飛行機がある。店長がハードロック好きの学園前店は、ロックの原点であるイギリスの、ロンドンバスをモチーフにしたお店に。遊び心を大切にしたのは、物を売るだけの場所には



1945年頃先代社長



したくはなかったからだ。「人としてお客様と向き合う」。それは岸氏がお客様から教えてもらったことでもあった。あるとき、大学の入学式に着るスーツが、発送ミスと社員の不手際で当日までに届けられないことがあった。「今すぐ社長を呼べ」と娘さんのお父さんが激怒している。すぐに家までお詫びに行つたが、「申し訳ございません」とただただ頭を下げ続けるしかできなかった。せっかくの人生の晴れ舞台に、取り返しの付かないことをしてしまった…。ふと顔を上げると娘さんが、困った顔をしている。「お父さん、もう怒らなくていいから」。その言葉に心底、胸が痛んだ。岸氏は娘さんにこう言った。「時間を戻すことは出来ないの、願わくば、こんな体たらくな大人がいるということを踏み台にして、これからもしっかりと勉強して社会に出てください。出来上がったスーツは届けさせて欲しい。たとえ、袖を通すことがなくても、職人がお嬢さんのために作ったものだから。そして、もし許していただけるのならば、大学生活が終わる就職活動の時期に、リクルートスーツをプレゼントさせていただきます」。そして3年後、連絡をすると、スーツを作ってもいいという返事がもたらされた。娘さんの優しさに救われた思いがした。今でもやりとりが続いていることに感謝しているという。「単純にスーツを販売するのではなく、買いに來てくださる方には、着るための目的がある。それは人生の節目や、大切な仕事のためなど、ドラマがある。そのドラマにはいろんな人間の愛情がある。そこに対して仕事をしているのだという。ことに改めて身が引き締まった」。しよせん服だから命に関する仕事ではないなんて妥協は許されない、心からの対応ができる社員を育てる。その使命をもって、ツキムラは進んでいったのだ。

(次号へ続く...)